

大茅地区公民館

【事業名】 流木の再生アート

【目的】 大茅地区の地元である袋川源流から殿ダムに流れ着いた流木を利用し、地元出身の木を美しく蘇らしたい、という事で、「地域の活性化は身近にあるものを再発見する事から始めよう」の気持ちから、昨年より事業として実施しています。

【事業概要】 昨年と同様、事前に殿ダムで回収された流木を下見し、飾り付けの出来そうな流木をたくさん収集したものの中から、事業参加者に個人個人で選んでいただき、講師の指導を受けながら自分流に仕上げて行く事業です。

- 実施日 平成27年10月29日(木)
- 場所 大茅地区公民館前広場
- 講師 山口登尚さん
- 参加者 地区住民 13名



(どんな形が良いかな?)

流木の形状はいろいろある為に、極力堅い木を選び・形を考え、座り具合を考え、花木を植え付ける場所・大きさなども考えながら、参加者同士でワイワイ話し合い、長い流木・小さい流木・大きな流木など、それぞれ自分の物を選んでいきます。

その後で花木を植え付ける為にドリルで穴をあけ、綺麗に水洗いし、バーナーで木目を引き立て、最後に好きな花木を植えて完成となりました。

講師からはその都度アドバイスをいただき、皆さんが試行錯誤しながらいろいろな形状の立派な流木アート作品に仕上がったところです。

【工夫した点とその成果】 元の流木の形状を眺め、それぞれが頭に描く完成時の形を思い浮かべて作



業するものである為、事前の切断作業の判断に戸惑う場面が見られましたが、最終的には各自に特徴ある出来栄となりました。「こんな木でも、捨てたもんでもないな!」という皆の感想でした。

【所見・アドバイス】 堅い流木は重くてどっしりしていますが、穴あけに苦勞します。やわらかい流木は穴があき易い反面、花木の水分がすぐに無くなります。どのような流木を使うのか、最初の選定が肝心な

ようでした。今後も流木に関心を持ち、「世界に一つのアートを飾りたい!」の笑顔で事業終了しました。